
地域活性化プロジェクトチーム

「常陽ビジネスアワード 2012」の奨励賞を受賞

茨城大学人文学部の地域活性化プロジェクトチーム「さとみ・あい」が「常陽ビジネスアワード 2012」（常陽銀行主催）の奨励賞を受賞することが決まった。同賞は、地域活性化につながる革新的・創造的な新事業に対して贈られるもので、人文学部中心の学生9人で構成される「さとみ・あい」は、「域学連携」地域づくり実証研究事業、根力育成プログラムの授業の中で、茨城県常陸太田市里美地区の地域おこしのため、その核である農産品振興を目指し里美カボチャのブランド化やPR用のゆるキャラ、「ニンジンパンケーキ」などさまざまなメニューを考案。「里美の魅力伝え隊」を組織し、茨苑祭でも出店した。常陽銀行は、学生が過疎地域と真摯に向き合い、住民との協働による「地に足のついた活動が決め手になった」と授賞理由を語っている。授賞式は、6月中旬。